

犬山祭グッズを製作・販売



(有)アトリエ(犬山)

犬山市上坂町のデザイン会社、(有)アトリエ(高田和之社長)は1年前から、犬山祭関連グッズの製作・販売を手掛けています。

犬山祭は376年の歴史がある、国の重要無形民俗文化財(平成18年指定)。「犬山にはいろいろな観光土産がありますが、犬山祭に関するものは少なく、それなら自社の技術を生かして商品を開発してみよう」と考えた高田社長(55)は昨年3月、社内に観光グッズ企画・製作工房を新たに設けました。

まず、県有形民俗文化財(昭和39年指定)の車山13両をそれぞれ親しみます。

多くの人と出会い、社内も活性化

まず、県有形民俗文化財(昭和39年指定)の車山13両をそれぞれ親しみます。

高田社長は「犬山祭のグッズですが、店名や社

やすいイラストにし、簡単な説明文を添えた車山カードやコースターなどを製作。紙だけでなく、布、金属、ガラスなどにも印刷できるデジタルカラー印刷機械も導入しました。

その時の人気商品は、13両1組の車山カード(500円)、アルミストラップ(800円)、巾着袋(1500円)でした。その後、タオル、アクリルストラップ、キャンパスポートミニ、コットンバッグ、マウスパット、カレンダーなどを次々と開発。最近、背景に春のさわやかな青空と桜が車山を彩る「2010春バージョン」の新作ストラップが完成しました。昨年10月24日には犬山市内で開かれた全国山車・鉦・屋台保存連合会総会出席者への記念品として、13両の車山を印刷したエコバッグ300個も製作。

昨年4月の犬山祭に初めて出店。「作るの得意でも売るのは初めて。観光客にどのよう声を掛けてよいか分からず、初日は1時間で閉店しました」。少し慣れた2日目。積極的に呼びかけたことで売れ始め、2日間で5万円を売り上げました。

「この事業を始めるために設備投資や数々の試作などを行っており、販売にはまだまだ赤字ですが、多くの人との出会いや自社の技術力アップ、社内活性化にもつながっています」と、予想外の効果もあったようです。犬山祭関連グッズは、同社のほか、からくり展示館、式番屋7号館2階、手打ちうどん「きり」で販売中。

